

チョウセンカマキリ

Tenodera angustipennis



種名

分類

カマキリ目カマキリ科

形態的な
特徴

体長 60 ~ 82 mm。体は緑色または淡褐色。オオカマキリに似るが、細型で、頭部顔面の幅は高さの2倍以上、前胸背後部が基節よりすこし長い。後翅の褐色の斑紋は中・後部の境に沿ってならぶだけ。たんにカマキリという場合、本種をさす。

分布

本州(山地を除く)、四国、九州、対馬に分布。

繁殖行動

成虫は9~11月に出現。

生息場所

明るい乾燥した草原などに生息する。

食性

生息環境への
配慮事項

その他

引用文献：改訂新版 世界文化生物大図鑑 昆虫 チョウ・バッタ・トンボなどを改変